

令和 7 年 2 月 4 日

国土交通省関東地方整備局

横浜港湾空港技術調査事務所

第 17 回 横浜技調技術交流会の開催について

関東地方整備局横浜港湾空港技術調査事務所では、港湾空港分野の技術力をより高める取り組みとして、外部の方々から様々な新しい技術を 5 件発表いただき、参加者との意見交換を行う技術交流会を開催します。

1. 日時：令和 7 年 2 月 27 日（木）14 時 00 分～17 時 00 分（受付は 13 時 30 分より）
2. 開催方法：対面とオンラインのハイブリッド形式（Microsoft Teams 配信による）
*オンライン参加される方には、開催日の前日までに招待 URL をメールにてお知らせします。
3. 開催場所：横浜港湾空港技術調査事務所 多目的プラザ
（神奈川県横浜市神奈川区橋本町 2 丁目 1-4）
4. プログラムおよび発表テーマ：「別紙 1」および「別紙 1-1」のとおり
5. 参加費：無料
6. 参加申し込み：事前申込制 / 令和 7 年 2 月 18 日（火）まで
「別紙 2」申込用紙に記載の上、事務局宛へメールにて送付してください。
なお、会場の都合および WEB 会議システムの都合上、参加者枠に限りがありますので、参加者は先着順（会場 30 名／オンライン 200 名を予定）とさせていただきます。
7. 取材申し込み：取材を御希望される方は、申込みフォーム（取材用）から必要事項を記入のうえ、お申し込み下さい。

<https://forms.office.com/r/DYQGY4xuN1>

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・その他専門誌

<問い合わせ先>

関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所

電話：045-4461-3893（直通） メールアドレス：cyousa-y83ab@mlit.go.jp

調査課 課長 原田（はらだ）（内線：32） 調査課 新山（にいやま）（内線：14）

第17回 横浜技調技術交流会プログラム

別紙 1

日時 令和7年2月27日（木） 14:00～17:00

場所 横浜港湾空港技術調査事務所 多目的プラザ（ダイバシティ1階交流室）およびオンライン形式（Microsoft Teams）

プログラム

No.	時間	テーマ	発表者
	14:00 - 14:10	開会挨拶	横浜港湾空港技術調査事務所 所長 中川 大
1	14:10 - 14:40	防波堤上部工のプレキャスト製品化	共和コンクリート工業株式会社 二瓶 智 様
2	14:40 - 15:10	プレキャスト嵩上げ工法「かさ上げくん」	ケイコン株式会社 青木 亘 様
	15:10 - 15:20	休憩（10分間）	
3	15:20 - 15:50	透明アクリル板を活用した水害対策技術『シーウォール』の紹介	シーウォール推進協議会 北濱 小百合 様
4	15:50 - 16:20	締固め地盤改良によるカーボンニュートラルの取り組み	株式会社不動テトラ 朝妻 涼 様
5	16:20 - 16:50	水中ICT建設機械の開発と導入	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 平林 丈嗣 様
	16:50 - 17:00	閉会挨拶	横浜港湾空港技術調査事務所 副所長 藤井 久

第17回 横浜技調技術交流会発表テーマ一覧

別紙1-1

番号	テーマ	概要	発表者
1	防波堤上部工のプレキャスト製品化	従来現場打ちコンクリートで施工されていた防波堤上部工の外殻部を工場製作のプレキャスト部材とすることで、海上での作業時間の短縮、現場作業の省力化に寄与する工法である。	共和コンクリート工業株式会社 二瓶 智 様
2	プレキャスト嵩上げ工法「かさ上げくん」	<p>【概要】 海面上昇への対策として、海岸保全施設及び港湾施設の護岸・堤防・防波堤の嵩上げが検討されています。しかし、その殆どが現場打ちコンクリート構造によるものとなっています。そこで、PCa製品である『かさ上げくん』を用いることで、明快施工で現場作業の効率化が期待されます。</p> <p>【特徴】 ・既設護岸の天端突起部に「かさ上げくん」を被せ置くことで、1.0～1.5mまでの嵩増しが可能 ・海側での作業（足場、支保工）が不要 ・従来工法では水叩き幅を大幅に減少することになるが、「かさ上げくん」では減少が0.2m程度となる</p>	ケイコン株式会社 青木 亘 様
3	透明アクリル板を活用した水害対策技術『シーウォール』の紹介 NETIS 登録No.CBK-100001-AG NETIS 登録No.KK-220008-A	防潮堤や河川堤防のコンクリート壁に「窓」を設けることで、壁の向こう側が見えるため万が一の際に判断が行いやすくなります。また、コンクリート壁による圧迫感や閉塞感を軽減し、光を取り入れることができます。シーウォールは、防災と景観の両立を実現する技術です。	シーウォール推進協議会 北濱 小百合 様
4	締固め地盤改良によるカーボンニュートラルの取り組み	近年、地球温暖化による気候変動が深刻化し、温室効果ガスの排出削減が喫緊の課題となっています。建設業界では、セメント製造時のCO2排出や建設機械の燃料消費など、さまざまな場面で温室効果ガスが発生しており、脱炭素化への取り組みが加速しています。地盤改良分野でも、環境負荷を低減し、カーボンニュートラルを目指す技術開発が活発に行われています。 不動テトラでは、これらの課題解決に向け、地盤改良と同時に地中に炭素を貯留する「バイオマスCP(シービー)工法」や、環境負荷を大幅に低減する「リソイルPro(プロ)工法」など、革新的な技術を開発してきました。これらの技術は、地盤の強度を確保しながら、CO2排出量を削減し、さらには大気中のCO2を地中に固定することで、カーボンニュートラルの実現に貢献します。	株式会社不動テトラ 朝妻 涼 様
5	水中ICT建設機械の開発と導入	水中における作業の多くは潜水士の手作業に依存しているが、作業効率、安全性を大幅に改善させることに加え、潜水士の肉体的負担を軽減する点においても水中機械化施工を推進する必要がある。 水中バックホウを対象として、水中版マシンガイダンス等のICT技術を活用し、様々な水中作業に対応したシステム開発等を行い、機械化施工を実現するものである。	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 平林 文嗣 様

第 17 回 横浜技調技術交流会 参加申込書

開催日時：令和 7 年 2 月 27 日（木） 14 時 00 分～17 時 00 分（受付は 13 時 30 分より）

開催方法：対面とオンラインのハイブリッド形式（Microsoft Teams 配信による）

オンラインで参加される方には、招待 URL を発表日の前日までにメールにてお知らせします。

申込書：技術交流会への参加申込について、以下表へ必要事項を入力いただき、

2 月 18 日（火）までに事務局宛へメールにて送付いただきますようお願いいたします。

氏 名 (ふりがな)	所 属	参加 形式	CPD 申請	CPDS 申請
	連絡先（メールアドレス／電話番号）			
例：関東 太郎 (かんとぅ たろう)	会社名 所属課 〇〇@mlit.go.jp / 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	会場	○	○
例：港湾 花子 (こうわん はなこ)	会社名 所属課 〇〇@mlit.go.jp / 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇	WEB	×	×

* 参加申込書の個人情報は、交流会当日の資料準備、連絡のみの利用とし、事務局が適正に管理いたします。

* 参加者多数で定員を大きく上回った場合は、こちらよりご連絡させていただきます。

* CPD および CPDS プログラムの留意点につきましては、「別紙 3」を参照ください。

* 会場にて参加される方で、37.5℃以上の発熱のある方および体調不良の方は入場をお断りさせていただく場合がございます。感染症対策に御協力をお願いいたします。

【申込先】 右記メールアドレスまで送付ください。 cyousa-y83ab@mlit.go.jp

【事務局】 横浜港湾空港技術調査事務所 調査課

担当：原田 勉・新山 真利 / 電話：045-461-3893

- 当技術交流会は、土木学会の CPD プログラムおよび（一社）全国土木施工管理技士会連合会 CPDS 学習プログラムの認定を受けております。

事前に申請して頂いた方のみ受講証明書をお渡し致します。

<p style="text-align: center;">土木学会 継続学習（CPD）制度プログラムの留意点</p>	<p style="text-align: center;">一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 CPDS プログラムの留意点</p>
<p style="text-align: center;">付与単位数：2.5 単位</p>	<p style="text-align: center;">付与ユニット数：3 ユニット</p>
<p>会場にて参加される方は、受講後に「受講証明書」をお渡ししますので、お帰りの際に受付までお立ち寄りください。また、受け取りの際に必要な CPDS 技術者証や運転免許証などの本人確認ができるもの（顔写真付き）をご持参いただきますようお願いいたします。</p>	
<p>オンラインにて参加される方は、CPD プログラムにおいて受講で得られた所見（学びや気づき）を 100 文字以上におまとめいただき、3 月 6 日（木）までに事務局宛へメールにて提出してください。 内容を確認後、受講証明書をお申込みいただいたメールアドレスへ返信いたします。</p>	<p>オンライン参加の方は、CPDS プログラムの認定は受けられませんのでご注意ください。 ※会場参加の方は、ユニット付与可能</p>

※他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法に関する御質問等については対応いたしかねます。

※CPD 記録の登録および CPDS の学習履歴申請等は各自にて行ってください。

※取材の方の CPD および CPDS プログラムの単位等の付与はございませんのでご注意ください。

交通のご案内および駐車場について



国土交通省 関東地方整備局 横浜港湾空港技術調査事務所
住所：〒221-0053 神奈川県横浜市神奈川区橋本町 2-1-4
電話番号：045-461-3893
メールアドレス：cyouasa-y83ab@mlit.go.jp

- * JR 京浜東北線 東神奈川駅より徒歩 15 分
- * 京浜急行線 京急東神奈川駅より徒歩 15 分
- * 横浜駅東口バスターミナル 4 番乗り場より「48 系統 コットンハーバー経由 東神奈川駅・横浜駅行き (循環)」バスに乗車し約 15 分、「星野町公園前」または「コットンハーバー」バス停下車、徒歩約 2 分

▼注意事項▼

- ・ 事務所構内に駐車場（無料）はございますが、可能な限り公共交通機関等にてご来場いただけますようご協力をお願いいたします。
- ・ お車でのご来場の際は、2 月 18 日（火）までに事務局宛へメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。（車種、車体の色、車両ナンバーをお知らせください。／様式不問）